

会報

[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 1999年7月

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 財団法人日本太鼓連盟
副会長 塩見 和子 Tel.03-3580-9536 Fax.03-3580-8322

◆ 2002年までに47都道府県の支部設置を目指して ◆

～運営委員会、代議員会でそれぞれ承認～

3年後の2002年は、学校の完全週5日制が実現し、週休2日となり「学校・家庭・地域」が協力し、子供の受け皿を用意する必要が生じてきます。すなわち、子供たちの健全な学校外活動の在り方が求められます。一方、文部省「学習指導要領」の改正に伴い伝統音楽の重視が打ち出され、中学生音楽では和楽器の学習を新たに設け、3年間のうちに1種類以上の和楽器を学ぶように勧めています。

今後、学校教育と日本太鼓の関わりがますます強まることを見据え、これを絶好の機会ととらえています。2002年には現在支部として未加盟の18府県に対し、目標(1999年3支部、2000年4支部、2001年5支部、2002年6支部)を設定し、47都道府県全てに支部を設置するとともに現在の加盟団体数740を1.5倍に増大することを目指していく。また、昨年度からの要請にもかかわらず実施されていない「入会申込書」の提出並びに1999年度会費の納入についてそれぞれ周知徹底を図ることを主な議題として第6回運営委員会及び第2回代議員会を次のとおり開催しました。

＜第6回運営委員会を開催＞

今年度初めての運営委員会は、6月23日(水)財団事務局のある日本財団ビルにおいて開催しました。塩見運営委員長が議長となり各議題を審議しました。

1. 総務について

(1) 入会申請状況・1999年度会費納入について

財団の設立に際し、これまで加盟していた団体からも新たに入会申込書を提出することが義務付けられた。また、会員組織規程により5月末日までに年度会費を納入することとしている。しかしながら、未

＜会員の皆様へ＞

昨年から、再三にわたり「入会申込書」の提出をお願いしておりますが、未だに一部団体においては実行されておられません。このため運営委員会の決議事項として7月31日までに入会申込書が提出されていない団体については、「財団への入会意志がないものと認め、旧全日本太鼓連盟会員としての審査入会既得権を失い、退会したものとみなす。」こととなりますので、該当する団体はご承知願います。

提出、未納の支部及び団体が多いため、各委員から支部並びに会員の意識を高めるよう徹底すべきとして、運営委員会の決議事項を文書で通達することとした。なお、支部総会開催期日等により年度会費支払い時期を延長したい場合は、財団事務局にその理由を連絡することとなった。

(2) 支部及び会員の拡大策について

未加盟支部の開設及び加盟団体数の増大については2002年(前文参照)を目標とする諸施策を説明し、承認された。なお、栃木県は7団体233名が支部として加盟する方向であること、沖縄県は7月中に具体化したいとの説明を行った。

(3) 特別会員(個人)の入会について

特別会員の個人入会について検討した結果、原則としてプロ活動しているチームまたは個人及び支部のない県のチームに限定することとした。なお、支部のない県からの入会申請は、個人(団体)が活動しやすい様に極力近隣県の支部に入会するよう勧めることとなった。

(4) 神奈川県太鼓連盟の名称変更について

神奈川県太鼓連盟は設立目的である神奈川県が終了したことから、新たに活動するため神奈川県太鼓連合と名称を変更したい。また、団体数はこれまでの11団体から当面は5団体に減少するが今後は、団体数の増加を図っていきたい旨の説明があった。

(5) 評議員の地区推薦について

現在の評議員は任期が今年の11月27日となっており、9月の理事会で選出する。このため、任期2年間、再任を妨げないこと等の確認を行い、各地区より8月15日までに推薦することになった。

2. 事業について

(1) 1998年度事業報告について

事業報告書に基づいて説明した。

(2) 1999年度事業計画について

既に完了した事業の報告と今後の予定事業について説明を行い了承された。今後の検討事項は次のとおり。

・1999年の助成金交付申請を9月末日までに締め切る。2000年度の申請時期を12月とする。

・後援名義申請様式等について統一する。また、日本財団等に成果報告を行う上で、観客入場者数等の記載は不可欠のため、各地で事業実施の後援申請は、資料の所定用紙に基づき申請と報告をすることとなった。

(3) 2000年度事業計画について

開催地未定の、日本太鼓全国フェスティバル、日本太鼓障害者大会、日本太鼓ジュニアコンクールの開催を希望する支部は、早急に財団事務局まで申し出ることにした。

<第2回代議員会を開催>

第2回代議員会は、6月30日(水)東京・船の科学館で代議員29名(内委任状12名)、代理5名、オブザーバー6名が出席して開催されました。はじめに塩見副会長より挨拶があった後、折りからの豪雨による電車事故で遅れている小口代表が出席するまで、塩見副会長が議長となり議事に入りました。

1. 総務について

(1) 入会申請状況・1998年度会費納入について

運営委員会同様、詳細に説明し各支部にその理由を確認した結果、入会申込書並びに会費納入の連絡が行き届いていないという支部があった。このため、財団事務局が各支部及び特別会員と調整して、連絡先・資料送付先を明確化し、今後は責任の所在を明らかにすることとした。また、各支部に対し事務局体制を早急に整備することを要望した。

(2) 支部及び会員の増大策について

(3) 神奈川県太鼓連盟の名称変更について

(4) 評議員の地区推薦について

(5) 後援名義使用許可申請様式等について

<以上は、運営委員会の項目を参照>

2. 事業について

(1) 1998年度事業報告について

(2) 1999年度事業計画について

「事業報告書」並びに「事業計画書」を基に説明を行った。なお、出席者から次のような意見が述べられた。

・年間の事業計画は、2年位前から支部、会員に希望・書類提出を求め、早めに財団は計画を立案すべきである。

・講習会などについては、支部事務局から会員に対し連絡を徹底してほしい。

(3) 2000年度事業計画について

上記運営委員会を参照

<第3回評議員会・第4回理事会を開催>

～平成10年度事業報告及び決算報告等を審議～

第3回評議員会と第4回理事会が去る5月19日(水)東京・原宿で開催されました。

評議員会は、11時に開会し吉野会長の挨拶に続き、河野評議員が議長となり理事会で諮る前に意見を聞かなければならない次の議案について審議が行われ、それぞれ原案どおり承認可決されました。

第1号議案「平成10年度事業報告及び決算について」

第2号議案「平成11年度事業計画及び収支予算の一部変更について」(日本財団の交付額決定を受けて変更が生じたもの)

引き続き、理事・監事・評議員の方々を交えて、昼食会が和やかな雰囲気で行われた。その後、理事会を開会し、吉野会長が議長となり、次の三つの議案について審議が行われ、それぞれ原案通り承認可決された。

第1号議案「平成10年度事業報告及び決算について」宮地監事より「去る5月1日財団事務局において、長内監事と共に平成10年度事業報告書及び決算報告書、帳簿、証拠書類等を詳細に監査した結果、いずれも適正かつ正確に実施、処理されていることを確認した。特に、事業においては、平成9年度に比較し、一段と充実してきていることを認めたので改めて申し添える。」との監査報告があった。

第2号議案「平成11年度事業計画及び収支予算の一部変更について」

第3号議案「規程の制定について」

当財団の事業を円滑に推進するため日本太鼓全国フェスティバル、日本太鼓ジュニアコンクール、日本太鼓全国障害者大会の開催に係わる日本太鼓大会開催規程を制定した。(平成11年5月19日から施行し、平成11年4月1日から適用する。)

＜第4回技術委員会を開催＞

第4回技術委員会は、7月8日(木)日本財団ビルにおいて開催され、古屋技術委員長が議長となり各議題を審議しました。

1. 公認指導員の認定について

(1)平成11年3月末日における公認指導員並びに技術認定員について「日本太鼓認定者名簿」を基に現在の取得状況を確認し、併せて代議員会において要望のあった技術認定員の認定証を作成する旨を説明した。

(2)公認指導員の特別推薦について、これまで技術委員会で取り決めのあった東京都の渡辺洋一氏と秋田県の鈴木孝喜氏は、所定の条件を満たしたので、1級公認指導員として認定された旨の報告を行った。

(3)公認指導員の昇級方法について確認し、講習内検定の参加状況を説明した。続いて、第5回日本太鼓全国講習会(群馬)において昇級の条件である5回目を終了した2名の昇級について審議した。その内、現在2級公認指導員の羽土聡氏(岐阜県)は、1級公認指導員に相応しいと判断して認定することとした。

(4)講習内検定の実施方法として、担当講師から受講者に対する指摘事項の申し送りを明確にし、不足している指導内容や欠点の修正を行うこととした。また、今後は1回目を見学、2・3回目に指導員対象の講義、4・5回目を講習会での指導実践として実施していくこととした。なお、講習会参加に際し、講習内検定希望者は、前日に担当講師と打合せを行うこととした。

(5)日本太鼓資格認定規程細則第2条第4号に定める「不合格者は、さらに3回以上の講師助手を経て最終検定を再度行う。」を「不合格者は、さらに講師助手を経て最終検定を再度行う。」に改正することとした。

2. 公認指導員の免除基準について

(1)公認指導員の免除基準について確認し、これまで申し合わせとなっている「既に会員になっている

団体に所属する者にあつては、これを該当しないものとする。」旨の事項を加えて基準を制定することとした。

(2)全日本太鼓連盟当時に申請を受けた時点において、規定の年齢に達していなかった者については改めて支部より文書で推薦を受け、講習会参加2回等の条件を付議して認定を検討することとした。

3. 平成12年度公認指導員研修会について

(1)規程に基づき公認指導員の更新時に行う研修会について検討し、更新は認定日より1年を経過した日から更新期限の3年目までの2年間のうちに研修会を受講することとなった。

(2)更新研修会は、原則として日本太鼓全国講習会に併せて行う。内容は、「指導者の心得について」などの研修講座と「指導法の確認」「指導実習」を行うこととなった。

4. 日本太鼓教本の見直しについて

現在の教本は財団設立以前に作成しており、残部数にも限りがあるので、再版のために修正等の必要があれば意見を欲しい旨の発言があり、技術委員並びに会員から後日集約して原案を作成することとした。

5. 日本太鼓全国講習会について

(1)平成10年度日本太鼓全国講習会の実施報告を行い了承された。平成11年度日本太鼓全国講習会の実施状況並びに実施計画の説明を行い了承された。

(2)日本太鼓支部講習会の実施要領について説明を行い、各支部に実施を要請することとした。

6. 日本太鼓ジュニアコンクールについて

(1)第1回日本太鼓ジュニアコンクールの実施報告を行った。

(2)第2回日本太鼓ジュニアコンクールの実施概要について検討した。

・課題曲は、小口大八氏に委嘱する。

・各支部の予選大会課題曲は、支部において決定する。なお、第1回大会の予選課題曲、本選課題曲の使用については制限しない。

・支部における選考は、全支部にて予選会を実施するよう要請することとした。

・第2回日本太鼓ジュニアコンクールの運営委員会を設置し、詳細を検討していくこととした

第1回日本太鼓全国障害者大会開催

7月25日(土)静岡市のグランシップで開催し、満員の入場者から「多くの感動をありがとう」と大好評のうちに終了いたしました。

詳細は、次号でご紹介いたします。

◆ ペルー・ボリビア両国で日本太鼓が響きわたる ◆

～日本人移住百周年記念式典に参加～

日本人がペルー並びにボリビアに移住してから100年を迎え、両国でそれぞれ記念式典が開かれることとなりました。この式典に日本から伝統芸能を代表して、日本太鼓の出演要請が両国政府から当財団にあり、日本財団の補助事業として御諏訪太鼓保存会と石見神代神楽上府社中の皆さんに出演していただきました。両国とも、紀宮清子内親王殿下や大統領閣下のご臨席を仰ぎ日系の皆様はもちろん、大勢の方々から熱い声援をいただきました。派遣団を代表して、岩川氏の感想文をご紹介します。

石見神代神楽上府社中(石州浜田太鼓神楽部)

代表 岩川 年永

この度、財団法人日本太鼓連盟よりご推薦を頂き、塩見副会長、小口副会長、大澤総務部長、御諏訪太鼓保存会、石見神代神楽上府社中の15名で平成11年5月26日午後6時・アメリカン航空にて成田を離陸しました。太平洋を渡りアメリカのダラス空港で乗り換え一路ペルーに向いました。その間7,000m級の山々が峰を連ねる世界的に有名かつ雄大なアンデス山脈や、世界の大河アマゾン川が何処までもつづら折りに果てしなく続いておりました。

午前1時、カヤオ空港へ着陸、外は真っ暗で夜中なのに、空港には出迎えの人で一杯でした。季節は日本とは反対にこれから秋に向かいますが、気温は日本と同じ様で過ごし良く、人々も髪が黒く体格も身長も日本人と似ていて、言葉こそ違えど私たちの同胞に思え親しみを感じました。そして、シエラトン・ホテルで26時間の旅の疲れを癒すことが出来ました。5月28日ラ・ウニオン総合学校(日系の中学・高校)で御諏訪太鼓の演奏が始まり、続いて上府社中の蛇舞(ドラゴンダンス)にも熱狂的な歓迎と声援を受け、さらには仲地マヌエル校長先生から記念品のミニ太鼓を全員に頂きました。

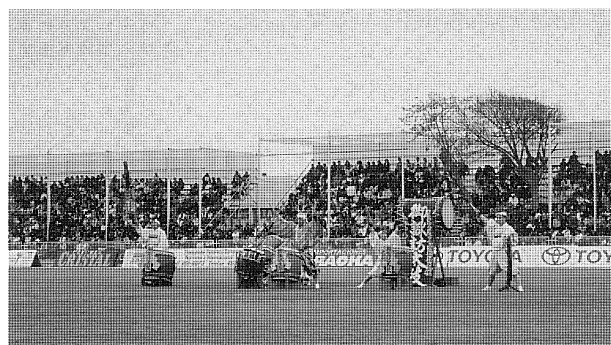
カトリック大学での公演、日秘文化会館、ワカワヤマルカ遺跡、仏教会館での現地との交流など数多くの思い出となりました。そして、日本人移住百周年記念式典の会場となったサッカーフィールドでの公演や大統領宮殿で開かれた、大統領歓迎レセプションでの演奏もアルベルト・フジモリ大統領閣下、紀宮清子内親王殿下の御前で緊張のうちに、御諏訪太鼓と大蛇の舞をご鑑賞頂いたことは生涯の思い出となります。終始絶え間ない大声援の内に無事ペルー公演が終わりました。

フジモリ大統領をはじめ、在住日系人8万人の方々や故郷の思い出に懐かしく膝を交え、お互いに臉をぬらして話をはずませた1時間、15名の島根県人会の皆さんに別れを惜しんで、カヤオ空港より隣国ボリビアへと飛行機は離陸したのでした。

記念委員会の丸井ヘラルド会長、司会まで務めていただいた佐野ホセ委員はじめペルーの皆様、あり

がとうございました。

やがて標高4,000mのボリビアの首都ラパスに立ち寄り着陸の瞬間、酸素不足のため高山病の苦しい思いを体験しました。乗り継いだ飛行機は足早に南下を続け、やがてサンタクルスのビルビル空港に着陸しました。当地では折りから農業問題でゼネスト中、空港から市内までの道路が閉鎖されたため軍隊が作った仮設の道を使用して移動しました。

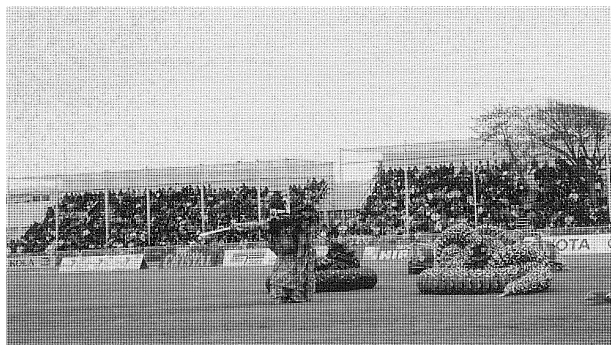


(ペルーの記念式典で演奏する御諏訪太鼓保存会)

サンタクルスのホテルはロス・タヒーボス、高級ホテルで勿体無くも、紀宮殿下と同じホテルで警戒が厳しく安心の5日間であったと、これも護身徳の賜かなと喜んだ次第でありました。そして6月3日ロス・タヒーボス・コンキ・スタドル会場での慰霊祭に御諏訪太鼓の小口先生による鎮魂の響き、百年を顧みて開拓の轟きを御魂に献上され当時の百年を偲んだのでありました。

当地には、明治32年、2度と日本には帰れないと決心され、佐倉丸で半年もかけて遠いこの地に移住されたとのこと。第2次世界大戦当時の不幸な時代から戦後再出発され、日本人の実直と勤勉さが実り、めでたく百年の式典を盛大に開催されるに至りました。そして、今回公演する機会に恵まれたのです。

ドンボスコ学園での公演はゼネストがピークとなり一時は危ぶまれましたが幸いにも当日に解決、無事始まりました。この公演は、ディヤマンテスと共演、日本の素晴らしい文化芸能に大地が割れんばかりの大声援が何時までもなりやまなかったのです。



(ボリビアの記念式典で演奏する石見神楽上府社中)



(ペルーの記念式典)

郊外に日系の皆さんが造られた施設で歓迎会を設定して下さった記念祭典委員会の武田健司委員長、細かくお世話いただいた島袋正克委員、急な司会までお願いした倉橋輝信神父、そして公演プログラムのスペイン語訳をお願いしたうえ、お忙しいなかを式典から公演まで全てにご出席いただいたガリンド在日大使閣下に心から感謝申し上げます。

両国に13日間の滞在中様々な思い出を心ゆくまで深める事が出来、誠に光栄のいたりと一同厚くお礼申し上げます。両国の移住百周年記念の主催者、参加された関係者各位に心から敬意を表しますと共に、ペルー・ボリビア両国の益々のご繁栄と、アルベルト・フジモリ大統領閣下並びにボリビア国のウゴパンセル・スアレス大統領閣下のご健康と更なるペルー国と、ボリビア国と日本国が、団子3兄弟として、日本太鼓連盟を通じて今後末永く、国際交流親善の輪が広がりますことを祈念しながら、日本人移住百周年記念に参加しての感想文といたします。

<派遣メンバー>

御諏訪太鼓保存会・

代表：小口大八、松枝明美、後藤浩一、福野富子、河西のぞみ

石見神代神楽上府社中

代表：岩川年永、佐々木昭夫、川崎久登、山崎健二、田室実、佐々木裕司、原田和利、山村雅則、

(財)日本太鼓連盟

塩見和子副会長、大澤和彦総務部長

<公演日程>

5月28日(金) 公演(ラ・ウニオン校)

29日(土) 大統領主催レセプション(大統領宮殿)

30日(日) 日本人ペルー移住100周年記念式典
(ラ・ウニオンスタジオ)

31日(月) 公演(カトリック大学)

6月 3日(木) ボリビア日本人移住100周年記念祭典
(ホテル・タヒボス)

4日(金) ボリビア日本人移住100周年記念公演
(ドンボスコ学園)

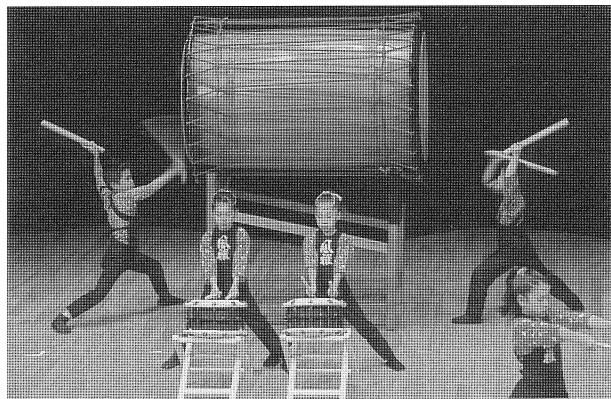


(ボリビアの慰霊祭で奉納演奏した小口大八氏を囲み記念写真)

◆ 第3回日本太鼓チャリティコンサートを開催 ◆

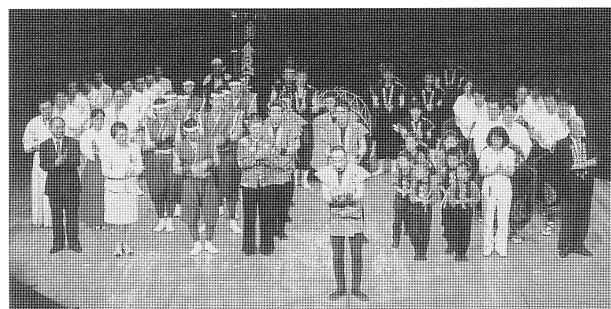
～日本エイズストップ基金に協賛～

(財)日本太鼓連盟主催、(財)エイズ予防財団共催、(財)日本音楽財団後援による第3回日本太鼓チャリティコンサートは、日本財団の補助事業として去る5月21日東京・草月ホールで行われました。



(熱演する共栄太鼓風雅の子供達)

このコンサートは、政・官・財界、在日外国高官及びオピニオンリーダーの人達に日本の伝統文化である日本太鼓のすばらしさを理解してもらうために招待、実施したもので、当日は300名以上の出席者で会場が埋まりました。コンサートに併せて、今年は(財)エイズ予防財団・栗山昌子企画委員のご紹介で、同財団に設置されている日本エイズストップ基金に協賛し募金活動を行いました。コンサートは主催者から塩見副会長、共催者から山田専務がそれぞれ挨拶を述べた後、全国各地から選抜された代表的な日本太鼓チームに第1回日本太鼓ジュニアコンクールで優勝した石川県・共栄太鼓「風雅」を加えた6チームによる競演が行われ、力一杯のパチさばきに大きな拍手が送られていました。



(フィナーレ)

出演チーム

1. 天孫降臨霧島九面太鼓保存会(鹿児島県)
2. 共栄太鼓 風雅(石川県)
3. 大江戸助六太鼓(東京都)
4. 江刺市梁川金津流鹿踊保存会(岩手県)
5. 富岳太鼓(静岡県)
6. 金沢百萬石太鼓(石川県)

*募金総額657,110円は、(財)エイズ予防財団に寄贈いたしました。皆様のご協力に感謝いたします。

◆ 第5回日本太鼓全国講習会 ◆

群馬・赤城山で開催



(5級基本講座の講習風景)

第5回日本太鼓全国講習会が6月12日(土)・13日(日)の両日、群馬県の国立赤城青年の家をメイン会場に、芳賀公民館、富士見村公民館を使用して行われました。

今回は、全群馬連合太鼓振興会の主管により行われたもので、島田会長をはじめとする会員の皆さんの熱意と努力に、心から感謝申し上げます。

講習会には地元、群馬県のほか秋田、福島、新潟、栃木、茨城、埼玉、千葉、東京、長野、静岡、石川、岐阜、愛知、京都、兵庫、宮崎、鹿児島、沖縄から218名の受講者が参加しました。

開講式には、財団を代表して塩見副会長が挨拶、主管団体の全群馬連合太鼓振興会から島田会長、そして群馬県知事(代理)、赤城青年の家所長からそれぞれ挨拶がありました。続いて講師紹介の後、恒例となった講師による模範演奏では熟練されたバチさばきに受講者は聴き入っていました。

午後からは、3ヶ所に分かれて6講座の講師による厳しい指導が開始されました。



(3級基本講座で篠笛を指導)

翌2日目は、朝の集いから始まり、講座も順調に進みました。成果発表では3専門講座で技術を習得した受講生による演奏がそれぞれ行われ、2日間の講習による上達ぶりを披露しました。

閉講式は、小口大八副会長の挨拶に続き、新たに1級公認指導員に認定された鈴木孝喜氏(秋田県・蘭導)に対し認定証とバッジが授与されました。また、今回の講習会で初の1級技術認定員が誕生、岐阜県の高島奈々氏、笑美氏の姉妹が認定されました。第5回日本太鼓全国講習会の内容は次のとおりです。

* 専門講座

ゆふいん源流太鼓講座(講師・長谷川義氏)複式複打
大江戸助六太鼓講座(講師・小林正道氏)単式複打
秩父屋台囃子講座(講師・高橋利雄氏)複式複打

* 基本講座

3級基本講座(講師・渡辺洋一氏)

4級基本講座(講師・松枝明美氏)

5級基本講座(講師・古屋邦夫氏)

午後は希望者による技術認定員試験(学科・実技)が行われ、結果は次のとおりです。

1級検定 8名受験 5名合格 1級認定2名

2級検定 11名受験 7名合格 2級認定4名

3級検定 15名受験 12名合格

4級検定 36名受験 25名合格

5級検定 87名受験 87名合格

* 上記の結果、技術認定員現在数は

1級2名、2級13名、3級34名、4級76名そして5級技術認定員566名で総数691名となりました。

羽土聡氏(岐阜)を1級公認指導員に認定

今回の講習会で、5回目の講習内検定を終了した羽土聡氏(岐阜県)がこのたび技術委員会の議を経て、初の昇級者となり、1級公認指導員として認定されました。7月25日静岡で行われた日本太鼓全国障害者大会の際に認定証とバッジが授与されました。これからの活躍を期待しております。

* 上記の結果、公認指導員現在数は

特別2名、1級20名、2級70名、そして3級公認指導員100名で総数192名となりました。

第1回京都府太鼓フェスティバルを開催



(演奏風景)

京都府太鼓連盟設立並びに(財)日本太鼓連盟加盟1周年を記念して「第1回京都府太鼓フェスティバル」が6月26日(土)京都府・加茂町文化センターで開催されました。

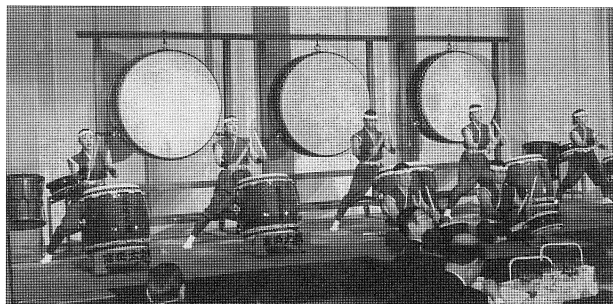
フェスティバルは、京都府太鼓連盟の会員が丸となり、お互いの特徴を活かした演奏発表を通じて会員相互の交流と親睦を図り、新規加盟チームの拡大に務めることを目的に行われたものです。第1回目の今回は11チームが出場して演奏を競い、場内を埋めた観客から大きな拍手と声援を浴びていました。

また、フェスティバルに併せて第2回日本太鼓ジュニアコンクールへ出場するチームを決定する予選大会も行いました。

第5回国際交流会議「アジアの未来」

6月3日(木)東京のホテルオークラでアジア国際会議が開催され、静岡県「富岳太鼓」が出演しました。主催者である日本経済新聞社より日本文化として日本太鼓を紹介したいとの要請を受けて実現したものです。

当日は、小渕恵三首相をはじめフィリピンやマレーシアなどアジア各国の大統領や首相が出席され、約160名の出席者が日本太鼓の演奏に聴き入っていました。



(富岳太鼓の演奏風景)

日米婦人クラブ50周年記念式典

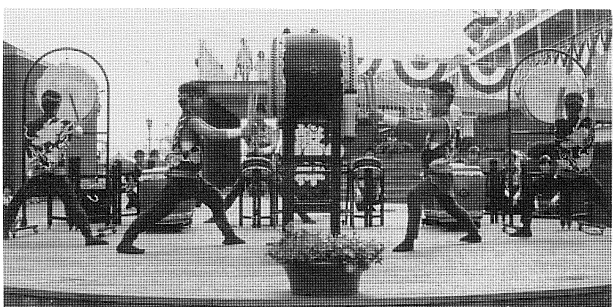
6月9日(水)ホテルオークラで「日米婦人クラブ創立50周年記念式典」が開かれました。対象がご婦人とあって女性チームを代表して石川県の「炎太鼓」が出演しました。式典は、皇后陛下にご行啓賜り、演奏の後には、皇后陛下より塩見副会長、浅野昭利氏並びに炎太鼓のメンバーに直接お言葉を頂いておりました。



(皇后陛下よりお言葉を賜る関係者)

ワールド・シー・ワールド ～I N 船の科学館 '99～

7月18日(日)東京・船の科学館で恒例となった「ワールド・シー・ワールドI N 船の科学館」が開催されました。今回は、神奈川県「鼓粋」が出演、梅雨の合間で天気も良く3回にわたって演奏、来場のお客様から大きな拍手を浴びていました。



(船の科学館・羊蹄丸で演奏する鼓粋)

第2回日本太鼓ジュニアコンクール 予選大会のお知らせ

- 6月26日(土)京都大会：京都府太鼓連盟
(京都府加茂町・加茂町あじさいホール)
- 8月8日(日)宮崎大会：宮崎県太鼓連合
(宮崎県五ヶ瀬町・五ヶ瀬町民センター)
- 8月22日(日)長野大会：長野県太鼓連盟
(長野県松本市・松本城内二の丸特設ステージ)
- 10月17日(日)富山大会：富山県太鼓協会
(富山県礪波市・礪波市文化会館大ホール)
- 11月3日(祝)大分大会：大分県太鼓連合
(大分県大分市・大分文化会館)
- 10月31日(日)鹿児島大会：鹿児島県太鼓連合
(鹿児島県牧園町・みやまコンセル)

第6回日本太鼓全国講習会の案内

期日：平成11年11月13日(土)・14日(日)
会場：湯布院スポーツセンター(大分県湯布院町)
予定講座：4級・5級基本講座及び専門4講座
*詳細は、財団事務局並びに下記へお問合せ下さい。

全九州太鼓連合事務局

Tel.0957-53-880 Fax.0957-53-8803

第3回日本太鼓全国フェスティバルの案内 甲府市(山梨県民文化ホール)で開催

11月28日(日)山梨県甲府市の県民文化ホールで開催いたします。出演を希望される場合は、財団事務局までお問合せ下さい。

日本太鼓助成金交付申請の受付

現在、今年度と来年度の助成金交付申請を受付けております。希望される場合は下記の締切期日までに財団事務局まで所定用紙にてお申込み下さい。

1999年(平成11年)度申請:9月末日締切

2000年(平成12年)度申請:12月第一次締切

事業の後援申請について

財団の後援申請は、必ず所定の用紙を使用して下さい。なお、申請は最低でも実施日の1ヶ月前までにお申し出下さい。また、終了後の報告書も必ずご提出願います。

事務局だより

太鼓教本の見直しについて

去る7月8日に開催された第4回技術委員会で、現在の「日本太鼓教本」の見直しが検討されました。このため、まず会員の皆様から教本の改善等について意見を伺い、それを参考にしたいと考えておりますので、ぜひともご忌憚のない意見をFAX等で財団事務局までお寄せ下さい

会員名簿の作成について

代議員会並びに運営委員会の報告事項でお知らせしたとおり、入会申込書の未提出団体が多いため、この度、決議文書を各支部の代表者に送付することとなりました。未提出団体からの入会申込書提出を待って会員名簿を作成いたしますので早急に送付願います。また、代表者・連絡先・会員等の記載事項に変更のある場合は至急財団事務局までご連絡下さい。

年度会費の納入

規程の制定により年度会費の納入期限が、毎年度5月末日となっております。平成11年度分が未納の団体は大至急右記へ納入下さい。

「日本太鼓実態調査報告書」を 全国市区町村に送付

ご承知のように、当財団では太鼓界として初めて、アンケート調査用紙による実態調査を実施いたしました。これは、日本太鼓と地域の関わりの現状を把握し、日本太鼓の伝統伝承並びに今後の振興策等を探るため、昨年度全国3,389市区町村の協力を得て行ったものです。その結果、全体の45%を超える1,538市区町村から回答を得て、報告書として取りまとめ、全国3,389市区町村の教育委員会に対して送付いたしました。

日本太鼓と地域の関わりについて理解いただき、これからの地域活性化や子供たちの健全な学校外活動（2002年から学校完全週5日制が実現）並びに教育活動（2002年から文部省・学習指導要領の改正による「和楽器」の導入）の一助として活用していただくよう期待しております。

各地の教育委員会等から指導員派遣の要請等がありましたらご協力願いますと共に、当財団までご一報いただくようお願いいたします。

郵便振込み

口座番号 00100-6-419013
口座名 財団法人日本太鼓連盟

各地のたより

7月31日(土)第14回富士山太鼓まつり
(御殿場口特設会場・主催：御殿場わらじ大祭実行委員会)
8月7日(土)1999盛夏 太鼓の祭典「鼓賑まつり」
(菊池市ふるさと創生市民広場・主催：菊池雲上太鼓)
9月12日(日)第3回故郷の鼓動! どんどこ音楽祭99
(行橋市民体育館・主催：どんどこ音楽祭実行委員会)
9月下旬全国幼稚園・保育園幼児音体フェスティバル'99
(全国20会場・主催：全日本幼児教育連盟)
9月25(土)・26日(日)創作和太鼓「駒の会」発足20周年
記念事業(宮城県小牛田町文化会館・主催：駒の会)
10月10日(日)山口太鼓流「北海若衆10周年記念公演」
(江別市市民会館大ホール・主催：北海若衆太鼓父母の会)
10月17日(日)平成11年度全国太鼓フェスティバル
(陸前高田市民体育館・主催：同実行委員会)
11月20日(土)府中の森 打楽祭'99
(府中の森芸術劇場・主催：(財)府中文化振興財団)

*各地の実施事業等を掲載したいと考えておりますので、皆さんからの寄稿をお待ちしています。

ヨーロッパ柔道選手権大会(イタリア)で 秩父屋台囃子を公演

秩父屋台囃子保存会「高野右吉と秩父社中」が、6月11日から6月24日の間、イタリアのアドリア海を舞台に開催されたヨーロッパ柔道選手権大会で公演を行いました。また、アドリア海に近いマイケ州の各市を訪問し、屋台囃子をはじめ大太鼓や大黒舞を披露し喝采を浴びました。また、公演を通じ地元の皆さんと親交を深めるなど文化交流使節団としての役目を果たすことができました。(秩父社中高野氏より寄稿)

